

子育て・環境・魅力づくり部会のまとめ

審議テーマ 「地域でのごみ減量・リサイクル」

1 部会検討の経過（今井部会長）

2 テーマに関する現状と課題

課題（今井部会長）

最終処分場には限界がある（新たな最終処分場の確保は困難）
家庭ごみの排出量は減ってはいるが、依然高い水準にある
資源化が計画どおりには進んでいない。
多額にごみ処理経費
環境学習を広める

ごみ処理、減量・リサイクルの取組み状況（根本委員）

ごみの排出状況（排出量の推移、一日一世帯当りの排出量、ごみの内訳）
ごみの処理経費
減量化・再資源化の取組み（3Rの推進、ふれあい出張講座など）
ミックスペーパー分別収集のモデル事業
資源集団回収の取組み

3 部会のまとめ（松世副会長）

地域でのごみの減量・資源化を進めるための取組みについて提案を行う。

具体的な取組みとして

（取組1）ごみを減らす取組みとして、レジ袋でなくマイバッグを利用しましょう

（取組2）出前ごみ講座（ふれあい出張講座）等を開催して、地域で3Rの取組みを知ってもらいましょう

（取組3）地域での資源集団回収を広めましょう

(取組 1) ごみを減らす取組みとして、レジ袋でなくマイバッグを利用しましょう
～ できることから無理のない取組みとしてはじめてみよう ～

マイバッグの利用促進のためには、商店街などに協力してもらい、一緒にマイバック利用を奨励する取組みを行う。

協力商店街でのマイバッグ持参者への特典サービスなど、取組みのきっかけと楽しみの仕掛けをつくる。

新しく幸区民になった方へ転入時に啓発物やチラシの配布を行う。

(取組 2) 「出前ごみ講座」等を開催して、地域で 3 R の取組みを知ってもらいましょう

～ 地域でごみの減量・リサイクルを学んでもらい、協力してもらおう ～

様々な団体等と協力して、身近な地域での出前ごみ講座の開催を増やして多くの方に参加してもらおう。

出前ごみ講座に参加した方は、啓発物がもらえるなど参加する楽しみをつくる。

3 R 推進などの広報ステッカーを、ごみ集積場など見える場所に掲示し取組みを知ってもらおう。

(取組 3) 地域での取組み「資源集団回収」活動を広めましょう

～ 活動の輪を広げる、実施回数を増やすなど、毎週、身近な地域で資源集団回収が行われるようにしよう ～

資源集団回収の実施場所や日程などがわかる情報マップをつくる

焼却しないで済むので環境に優しいこと、奨励金が P T A 活動など地域活動に役立っていることなど広報を行い、活動団体や参加者を増やす。

(取組1) ごみを減らす取組みとして、レジ袋でなくマイバックを利用しましょう

部会中間報告の意見

- ・マイバック（エコバック）の利用促進のためには、商店街と一緒にマイバック利用を奨励する取組み等を検討していきたい

11月区民会議での意見

- ・市民と行政と企業との3者が協定を結ばないと、なかなか進まない
- ・エコ風呂敷をセットで持ち歩くようにすればいい

12月の部会での意見

- * 多く買い物した場合、マイバック1つでは入りきらない、ふるしきでも持っていれば全部入るが、お店が声かけしてくれないと浸透しないだろう。大手スーパーの協力が必要。
- * はじめから難しいことをやると定着しない。マイバックならば誰でもできると思う。マイバックなら言いやすいし、使いやすいし、いいのではないか。区民会議でも商店街と一緒に取り組んでいかないといけない。
- * みんなが一緒になって取り組まないと実現しない。身近な商店で共通のポイントカードがあって、ポイントが貯まると区で主催するコンサートに行くことができるとか、参加するきっかけのようなものがあると良い。
- * 昔はマイバックで買い物すると万引きと間違えられて嫌がられた。
- * 少しずつマイバックが浸透しているが、商品を店のテープを貼っただけで持っている紛らわしいのも事実。店員さんの意識を変えていく必要がある。
- * ブレーメン通りで1店1エコ運動というのをやっている、その中に豆腐屋があって容器を持って買い物してくれた人にはサービスがある。1割くらいの方がリーダーで参加する。無理しないような取組み、いろいろなところと繋がってできると良い、商店街の活性化にも繋がると思う
- * 市民と企業と行政の協定というのも協力していきましようという形で進める。あと、エコふるしきのようなものを持っていきましようといったことと提案する。若い人はふるしきを知らないのでふるしき講座をやるとか。
- * 転入者向けのキャンペーンということでマイバックの配布はどうか。

(取組1) 部会のまとめ

マイバック（エコバック）の利用促進のためには、地元商店街と一緒にマイバック利用を奨励する取組みを行う。できるところからできることの負担のない取組みとやってみようというきっかけと楽しみがあると良い。

(取組2) 「出前ごみ講座」等を開催して、地域で3Rの取組みを知ってもらいましょう

部会中間報告の意見

- ・区民一人ひとりが、ごみの減量・資源化の必要性を理解して、協力してもらうことが必要
- ・環境局で行っている講座を町内会等との協力により、開催していくことを検討したい

11月区民会議での意見

- ・環境局から何回も出前講座をしてもらって、分別の意識を徹底するという必要がある
- ・「愛の街かわさき」をBGMとして、3Rを推進しましょうということをごんごん流したり、ステッカーをつくって、ごみの集積所のあたりに張ったり、とにかく視覚等に訴えて広報することも大切

12月の部会での意見

- * 知識はあっても、実際にやるとなると、なかなかできないと思う。実演してみたり、講座を開催したり、方法を教えないといけない。
- * 幸区としては、リフューズ(ゴミになるものは絶対を買わない)、リペア(修理して使う)を加えて“5R”で循環型生活を徹底したい。5Rを提案したい。
- * 出前講座、幸区で積極的にやろうというのは良いと思う。
- * マイバックをゴミ出前講座に出たらもらえるような仕組みにしたら良い。

(取組2) 部会のまとめ

区民一人ひとりが、ごみの減量・資源化の必要性を理解して、協力してもらうことが必要である。

環境局で行っている講座を様々な団体等と協力して、開催回数を増やして生かしましょう。

ごみ出前講座に参加した方には、マイバッグがもらえるなど参加の楽しみのような仕掛けがあると良い。

広報用のステッカーを、ごみ集積場の見えるところの貼って取組みを知ってもらう。

(取組3) 地域での資源集団回収を広めましょう

部会中間報告の意見

- ・実施地域は多いが、実施回数にバラつきがある。週1回では、出し忘れたときに普通ごみに出されてしまう実態がある
- ・毎週、身近な地域で資源集団回収が行われるよう検討していきたい。
- ・転入者等へのPRも必要

11月区民会議での意見

- ・資源集団回収の課題は、町内会のどこか1カ所に集めてくれとか、集会所へ置いておいてくれという業者が多い。
- ・なるべく身近なところに資源回収の場所を設けて、毎週回収車が回ってこられるような仕組みを考えていけたらいい
- ・下河原地区では毎週行われているので、取り組みのモデル地区みたいな感じになっている
- ・定着するとかなりの量だから、業者も集めるに来る回数が増える
- ・ミックスペーパーを行う時、(川崎生活環境事業所の)職員がきて、町内会で分別について説明してもらい良くわかった。全部の地域で実施したら、各地域で説明してもらえるので、資源回収、分別収集はすごく進むのでは。・幸区民としてどのように取り組むのか、目標値を挙げて、みんなで取り組んでいけばいい

12月の部会での意見

- * 集団資源回収については、どこでやっているかマップをつくる。
- * どこでやっているかに加えて、集団資源回収の日程も必要。あと、身近な場所に回収場所があるとよいと思う
- * 出し方のマナーを守ってほしい。雨の時に出してしまう人、前日の夜から出してしまふ人、収集車が行ってしまってから出す人もいる。
- * 幸区として資源集団回収の開催回数を増やしていきたいということを提案する。モデル的に協力してやってくれる商店街を探して取り組んでみる。

(取組3) 部会のまとめ

実施地域は多いが、実施回数にバラつきがある。実施回数が少ないと普通ごみに出されてしまう実態がある。毎週、身近な地域で資源集団回収が行われるようにしていきたい。

資源集団回収の団体を増やそう。

転入者等への取組み参加へのPRも必要

現在、区内の一部の地域がモデルとなっている紙類の分別収集が始まるので、どのようなものを紙類の分別収集に出すのかわかりやすい図柄入りの袋
集団資源回収については、どこでやっているか日程もわかるマップをつくる。